

## 不適合情報

2022年12月26日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。  
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 6件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	中央制御室において、排ガス系温度記録計の印字部に破損を確認した。記録紙の紙送りを停止し、記録紙を取り外し。当該記録計を修理。なお、記録計の動作は継続しており、温度監視に影響なし。	2022/12/14	
2	3号機	原子炉圧力容器温度記録計(14箇所のうち10箇所)の指示値が通常より高い値に上昇し、翌日に通常値に復帰したことを確認した。当該温度計および記録計を点検・修理。	2022/12/19	
3	6号機	タービン建屋(管理区域)南東エレベータ点検において、地下中3階のピット内に水溜まり(約173リットル)を確認した。汚染検査を行い、排水処理およびピットを清掃。なお、エレベータの使用に問題なし。	2022/12/21	
4	5号機	燃料チャンネル着脱機能試験のため、燃料取替機で模擬燃料を移動させる主ホイストの下降動作中に、異常を示す警報が発生し停止したことを確認した。調査の結果、ホイストの荷重値が設定値を超えていたことを確認した。当該事象の原因を調査し修理。なお、燃料取替機を燃料貯蔵ラックの上部以外の場所に移動済み。	2022/12/19	
5	その他	荒浜側焼却炉建屋排気筒放射線モニタリチウムサンプリング装置(B系)の待機中に故障を示す警報が発生し、自動停止したことを確認した。調査したところ現場制御盤にはA系・B系ともに警報は発生していなかったものの、B系の表示ランプ・表示盤が消灯していたことを確認した。A系・B系の運転を停止し、A系を再起動。B系のヒューズ交換を行い、表示ランプ・表示盤が正常に点灯されたことを確認。当該装置動作状況の継続監視を実施。	2022/12/19	
6	その他	可搬型窒素供給装置(3号車)の定例試験において、窒素ガス発生装置の起動準備中に窒素ガス発生装置制御盤に故障を示す警報の発生を確認した。当該装置をメーカーにて詳細調査し修理。なお、修理期間中においても必要台数は確保可能なため、修理にともなう影響なし。	2022/12/22	